作の III PR東労組 NEWS



IR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union

2022年 9月 1日 No. 33

大宮地本 申3号交渉 第1項 団体交渉5回目 交渉時間は約20時間になるが、

また中間

8月31日に行われた大宮地本申3号第1項の団体交渉は約20時間議論し、5回目を迎えました。団体交渉が長引いている原因は、本人希望を無視した事象が多く発生していること。組合の質問に対し会社が回答出来ず、中断をしていることが一要因です。以降、交渉の中身をシリーズ化します。

第5回交渉では「新たなジョブローテーション」でJR東労組が団体交渉で確認した「施策の趣旨である 社員の夢や希望に近づけられるよう日々のコミュニケーションを図り、丁寧な面談を行える体制をつくる考 え」の労使確認に対し、大宮支社が行った人事異動で3名の病欠者が出ていることから、病気 休職となった原因を明らかにした上で、労使確認の履行を求め団体交渉を行いました。

営業統括センターから駅信号へ転勤となり病欠となったケース(全なやり取り)

前回交渉 会社 異動は病欠の一要因でありすべてではない

組合 他の理由は何か 回答できず交渉中断!

今回交渉 会社 (改めて回答を求めるも)異動は病欠の一要因

組合 直接本人に聞いたらどうか

会社 <mark>できない。</mark>

運転職場で異動を慫慂され病欠となったケース(建なやり取り)

(団体交渉で確認した病欠となった経過)

現場長「丁寧な議論が出来なくて申し訳ない。人事課には何度も言っている」本 人「異動の話がまたされると、精神的に出勤できなくなるかもしれない」 現場長「そのことは支社に伝える」 ―その後に転勤慫慂され病欠となる

今回交渉 組合 本人の診断書に「異動によるストレスが大きな要因」と記載がある。

会社 異動は一要因(繰り返し) 会社の要請で交渉中断!

この会社姿勢では働きがいは向上しない



广会社が 診断したの?